

平成21年度局予算要求の概要

- みなさまからのご意見を募集しております -

札幌市では、現在平成 21 年度予算の編成を進めておりますが、予算案の検討の参考にさせていただくため、各部局から提出された予算要求の概要を公表し、市民のみなさまからのご意見を募集しております。

平成 21 年度予算編成においては、本市を取り巻く厳しい経済状況や財政見通しを踏まえ、各局が安易な事業費一律のカットなどは避け、“伸ばすべきものは伸ばし、変えるべきものは思い切って変える”という基本方針に沿って、よりメリハリがついた予算を目指しております。

ご意見につきましては、郵送、FAX、Eメールなどでお寄せください。

いただきましたご意見に対する札幌市の考え方と査定結果につきましては、趣旨が同じご意見を集約したうえで、平成 21 年 1 月下旬頃に予算案と同時に公表いたします。

募集期間 平成 20 年(2008 年)11 月 21 日(金)～12 月 22 日(月)

ホームページからのご意見をお寄せいただけます。

・ 財政部ホームページ

<http://www.city.sapporo.jp/zaisei/kohyo/>

新まちづくり計画体系別の予算要求額も公表しております。

上記ホームページのほか、市役所本庁舎 2 階市政刊行物コーナー、各区役所・まちづくりセンター等でご覧いただけます。

予算要求内容に関するご意見等は、

札幌市コールセンター [電話 011(222)4894 FAX011(221)4894、

Eメール info4894@city.sapporo.jp] または各局へお寄せください。

最終ページに、ご意見募集用紙をご用意しています。切り取って糊付けしていただきますと、切手を貼らずに郵送いただけます。FAXでご意見をお寄せいただく際にもご利用ください。

ホームページを検索するときは

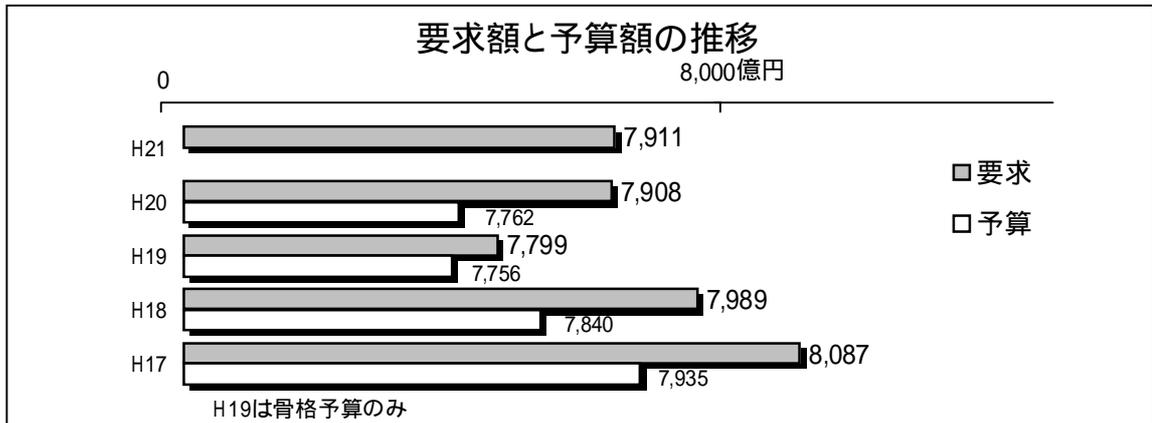
札幌市の財政

検索

平成21年度 局予算要求の概要

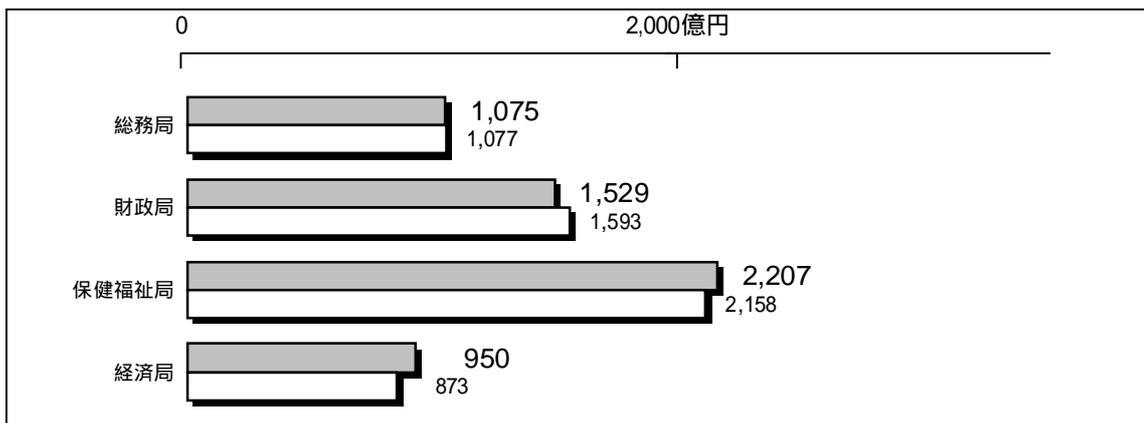
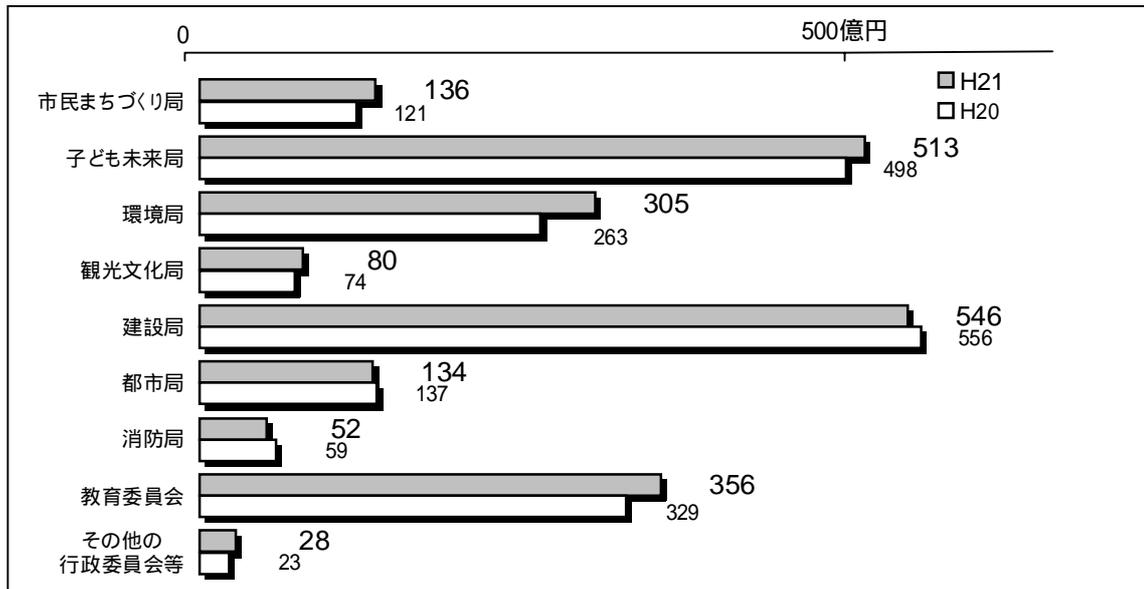
1 予算要求総額(一般会計)

H21予算要求総額	7,911億円	前年度予算対比	+149億円
(H20予算総額)	(7,762億円)		+1.9%



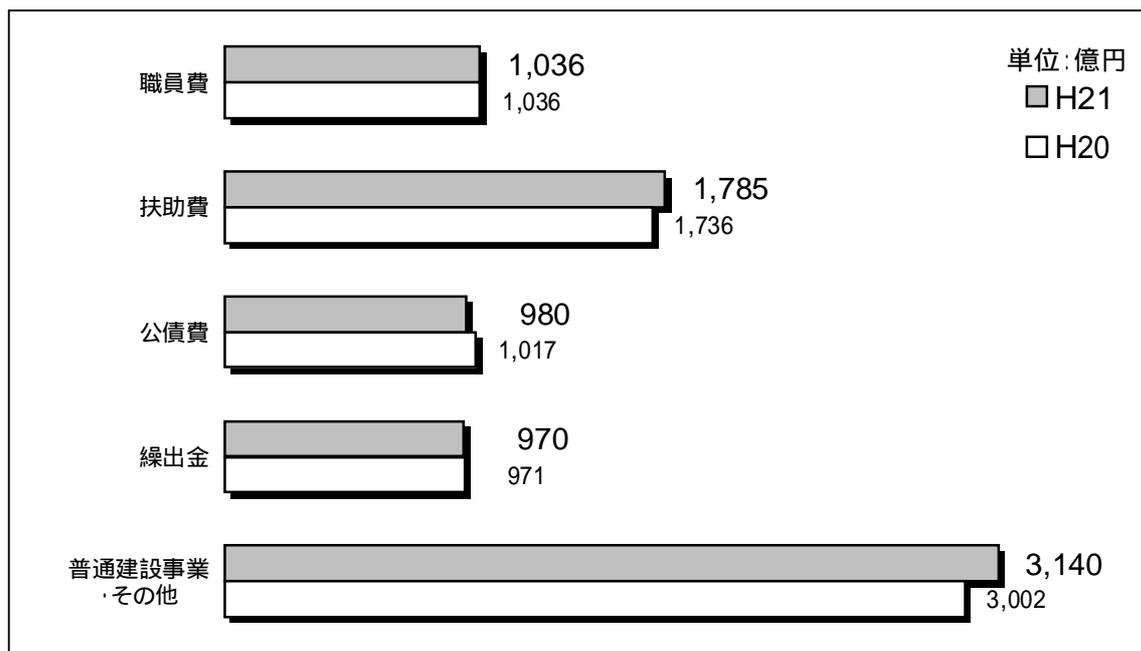
2 20年度予算との比較

(1) 局別比較



億円単位で四捨五入しているため、各局の和が総計と一致しない場合があります。

(2) 経費の性質別比較



3 特別会計の要求状況

単位: 百万円

	H20	H21	増減	増減率
土地区画整理	5,672	5,003	▲ 669	▲ 11.8
駐車場	331	350	19	5.8
母子寡婦福祉 資金貸付	250	240	▲ 10	▲ 4.0
国民健康保険	191,228	183,978	▲ 7,250	▲ 3.8
老人医療	17,486	1,857	▲ 15,629	▲ 89.4
後期高齢者医療	18,564	19,183	619	3.3
介護保険	91,302	94,130	2,828	3.1
基金	1,805	1,458	▲ 347	▲ 19.2
特別会計合計	326,638	306,199	▲ 20,439	▲ 6.3

特別会計合計には公債会計を含まない

危機管理対策室

一般会計要求総額

338,316千円
(対前年度 +11.8%)

< 要求の基本的考え方 >

災害に強い安全なまちの整備を進めるため、地域防災計画の充実にに向けた取組や自主的な防災活動への支援を行う。

札幌市の防災対応力を強化するため、災害等の情報連絡体制の整備などを推進する。

(単位：千円)

	一主要事業一	要求額
災害に強い安全なまちの整備	自主防災活動推進事業	18,000〔危機管理対策部〕
	簡易型災害図上訓練(DIG)支援事業	900〔危機管理対策部〕
	洪水ハザードマップ作成	3,000〔危機管理対策部〕
	地域防災計画修正	8,525〔危機管理対策部〕
	防災情報伝達モデル等推進事業	1,500〔危機管理対策部〕
	防災行政無線第2期拡充整備	174,000〔危機管理対策部〕
その他	コミュニティ助成事業	2,000〔危機管理対策部〕
	緊急地震速報利活用促進事業	2,500〔危機管理対策部〕
	地震ハザードマップ啓発事業	4,000〔危機管理対策部〕
	防災・危機管理教育充実強化	1,584〔危機管理対策部〕

：新規事業

● 地震防災対策の充実

地域防災計画修正

第3次地震被害想定の結果に基づき、札幌市地域防災計画(地震災害対策編)を修正します。



事業費 8,525 (新規)
主な内訳：委託料 8,400
事務費 125

地震ハザードマップ啓発事業

市民への地震防災対策の普及啓発を図るためのシンポジウムや、地震ハザードマップに関する市民防災セミナーを開催します。



事業費 4,000
主な内訳：委託料 3,550
事務費 450

● 避難場所への防災行政無線の設置

防災行政無線第2期拡充整備

災害等により通信が途絶えたときに備えて、避難場所である小学校やまちづくりセンターなどに、防災行政無線を設置します。

< 整備概要 >
H20 120基
H21 180基



事業費 174,000(20年度予算額 116,000)
主な内訳：設置工事費 169,096
工事管理費 3,032
事務費 1,872
達成目標 防災行政無線整備数
H18 518基 H21 818基
21年度効果 +180基

< 主な見直し項目(効果額) >

・一般事務費の削減 1,550

総務局

一般会計要求総額

107,460,780千円

(対前年度 0.2%)



< 要求の基本的考え方 >

市民の視点で、より効率的な市政運営を行っていくことを念頭において、市長・副市長などのリーダーシップの発揮を補佐する。

広報・広聴や情報公開、国際交流、シティPR など、市民及び国内外への情報発信を行う。

人事、研修、組織、事務管理の総括など、内部管理的な業務を行う。

(単位：千円)

事業内容	要求額	所属
新たな集客交流資源の創出と魅力の発信	720	〔国際部〕
アジア学生交流事業	720	〔国際部〕
「ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo」開催経費負担金	9,500	〔国際部〕
世界冬の都市市長会関連事業	13,000	〔国際部〕
首都圏シティPR事業	20,013	〔東京事務所〕
首都圏ビジネスチャンス拡大支援事業	10,025	〔東京事務所〕
札幌の特色を生かした文化芸術の振興	2,000	〔行政部〕
公文書館基本構想推進	2,000	〔行政部〕
その他	10,500	〔国際部〕
札幌・ポートランド姉妹都市提携50周年記念事業	10,500	〔国際部〕
在住外国人支援施策推進事業	1,790	〔国際部〕

：新規事業

● 「札幌」を首都圏に売り込みます

首都圏シティPR事業

首都圏の人々に、札幌に関してより具体的なイメージを持ってもらうため、札幌のイメージ映像や様々なイベントなどのPR映像を、銀座の街頭ビジョン等公共スペースで放映します。

事業費 20,013(20年度予算額 21,931)
主な内訳：メディア広告料 11,100

● 公文書館基本構想を策定します

公文書館基本構想推進

市民と行政との共有財産である重要な公文書を保存し、市民の利用に供する「公文書館」の基本構想を策定します。また、公文書館制度の市民周知にも取り組みます。



事業費 2,000(20年度予算額 1,000)
主な内訳：基本構想の策定 1,188

● 国際交流をまちづくりに生かします

札幌・ポートランド姉妹都市提携50周年記念事業

世界冬の都市市長会関連事業

札幌・ポートランド姉妹都市提携50周年の節目を市民の皆様とともに祝い、更なる交流の裾野を広げる機会とするほか、様々な施策を学びあい、札幌のまちづくりに生かしていきます。また、世界の冬の都市と地球温暖化問題等についての知識と経験を共有し、ともに地球環境問題に取り組みます。

事業費：50周年 10,500 (新規)
市長会議 13,000(20年度予算額 6,000)
主な内訳：50周年記念式典開催費 6,600
市長会議開催費 8,070

< 主な見直し項目(効果額) >

・一般事務費の削減 85,869
・民間ビル引き上げ等に伴う賃借料の減 28,141

市民まちづくり局

一般会計要求総額
13,564,485 千円
(対前年度 +12.0%)

< 要求の基本的考え方 >

市民にとっても訪れる人にとっても魅力あるまちにするための都市整備を行う。

市民自治が息づくまちづくりを目指して、地域の主体的なまちづくり活動に対する支援を行う。

(単位：千円)

将来を見据えた魅力ある都市の整備

— 主要事業 —

要求額

大通交流拠点再整備計画策定・・・3,000〔企画部〕
札幌駅交流拠点再整備構想策定・・・17,000〔企画部〕
地域特性に応じた土地利用の再構築事業・・・12,000〔都市計画部〕
道路交通調査・・・43,000〔総合交通計画部〕
北海道新幹線推進費・・・20,061〔企画部〕

市民の主体的な地域づくりの支援

まちづくりセンター地域自主運営化推進・・・42,500〔地域振興部〕
市民まちづくり活動促進総合事業(基金含む)・・・57,493〔地域振興部〕

その他

さっぽろセーフティサイクリング2009・・・5,000〔地域振興部〕
平和都市宣言普及啓発事業・・・10,000〔地域振興部〕

：新規事業 ：イノベーション事業

● 魅力あふれる都心の拠点づくりを進めます

大通交流拠点再整備計画策定

札幌駅前通と大通の交差点において、駅前通地下歩行空間や周辺民間ビルとの連携を図りながら、「サッポロ広場」整備計画の検討を進めます。

事業費 3,000 (新規)
主な内訳：検討委託料 2,280
事務費 720
達成目標 H22 サッポロ広場形成計画の策定
21年度効果 計画案の策定

札幌駅交流拠点再整備構想策定

新幹線の乗り入れを見据え、将来に向けた札幌駅周辺の再整備構想について検討します。

事業費 17,000(20年度予算額 8,000)
主な内訳：検討委託料 14,640
事務費 2,360
達成目標 H22 再整備構想の策定
21年度効果 構想案の検討

● 快適で魅力的な地域への再構築

地域特性に応じた土地利用の再構築事業

優先的に対応を図るべき土地利用上の課題を有する地区について、土地利用計画の策定や見直しに向けた必要な措置を講じます。

事業費 12,000(20年度予算額 11,000)
主な内訳：ワークショップ等委託料 9,000
事務費 3,000
達成目標 地区計画の決定、変更数
H18 - H22 3地区
21年度効果 1地区

● 将来の交通体系を検討します

道路交通調査

18年度に実施したパーソントリップ調査を基に、交通実態の調査・解析を行い、将来を見据えた交通体系の検討を引き続き行います。

21年度は、都市交通マスタープランの策定に向け、パブリックコメントを行ったうえで、計画を策定します。

事業費 43,000(20年度予算額 87,000)
主な内訳：都市交通マスタープランの策定
都市・地域総合交通戦略の検討
将来道路網の検討

●北海道新幹線の誘致

北海道新幹線推進費

円滑な事業実施に向けた関連事業調整や新幹線の効果を確実に発揮するためのまちづくりを検討するほか、早期開業に向けた中央要望や市民啓発活動を行う。

事業費 20,061(20年度予算額 15,000)
 主な内訳：中央要望 1,560
 啓発活動 6,248
 関連事業調整・まちづくり検討 7,000



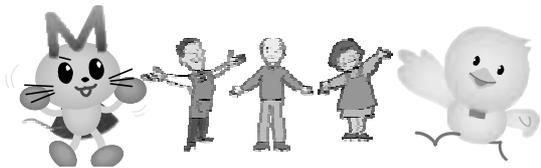
●地域課題解決活動を支援

まちづくりセンター地域自主運営化推進

より地域の個性を活かしたまちづくりを進めるため、地域によるまちづくりセンター運営を推進します。

実施地域における地域課題の解決に向けた活動を対象とした新たな助成金制度を創設し、その活動を支援します。

事業費 42,500(20年度予算額 15,000)
 主な内訳：センター委託費 31,050
 地域交付金 7,500
 達成目標 地域自主運営まちづくりセンター数
 H18 - H22 10か所
 21年度効果 累計6か所



●市民まちづくり活動を促進

市民まちづくり活動促進総合事業

市民まちづくり活動促進基本計画に基づき、市民の皆様への寄附による財政的支援をはじめ、情報、人材、活動の場の4つの支援を総合的に実施し、市民まちづくり活動を促進します。

事業費 57,493(20年度予算額 44,000)
 主な内訳：市民まちづくり活動促進助成金 30,000
 市民まちづくり活動促進基金造成費 7,000
 企業と市民まちづくり活動団体のマッチング支援事業 3,945
 まちづくりフェスタ事業費 2,150
 達成目標 市民まちづくり活動に参加経験のある人の割合
 H18 41.1% H22 60.0%
 21年度効果 55%



●自転車の安全利用の促進

さっぽろセーフティサイクリング2009

20年6月の改正道路交通法の施行を受け、自転車の安全な利用を促進するため、自転車利用者のマナー向上やルール遵守意識の向上を目指した啓発事業を実施します。

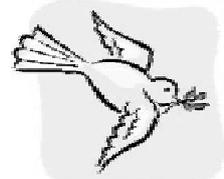


事業費 5,000(新規)
 主な内訳 自転車実技教室、自転車安全利用啓発イベント、児童生徒向け啓発資料作成
 達成目標 自転車は(軽)車両であり、車道通行が原則と知っている人の割合
 H19 76.8% H21 95%

●平和の尊さを次世代へ語り継ぐ

平和都市宣言普及啓発事業

20年度に引き続き、8月を「平和月間」として、平和に関するイベントを集中して開催し、特にまちづくりの明日を担う子どもたちが、自ら平和について考える機会の充実に努めます。



事業費 10,000(20年度予算額 10,000)
 主な内訳：平和へのメッセージ募集、平和訪問団、原爆関係展、被爆体験講話・映画上映会、区の平和事業、子ども向け平和資料作成

< 主な見直し項目(効果額) >

・一般事務費の削減 124,593
 ・人件費の見直し 16,159

保健福祉局

一般会計要求総額
220,747,515 千円
(対前年度 +2.3%)

< 要求の基本的考え方 >

情勢の変化に対する迅速かつ的確な対応を目指し、制度に基づく事業の着実な推進を図る。

第2次新まちづくり計画の目標達成に向けた取り組みの加速及び行財政改革プランに盛り込まれた見直しを推進する。

(単位：千円)

<p>子どもを 育てやすい 環境づくり</p>	<p>— 主要事業 —</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>要求額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妊婦一般健康診査</td> <td>283,797〔保健所〕</td> </tr> <tr> <td>生後4か月までの全戸訪問</td> <td>64,543〔保健所〕</td> </tr> <tr> <td>不妊治療支援事業</td> <td>75,396〔保健所〕</td> </tr> </tbody> </table>		要求額	妊婦一般健康診査	283,797〔保健所〕	生後4か月までの全戸訪問	64,543〔保健所〕	不妊治療支援事業	75,396〔保健所〕								
	要求額																
妊婦一般健康診査	283,797〔保健所〕																
生後4か月までの全戸訪問	64,543〔保健所〕																
不妊治療支援事業	75,396〔保健所〕																
<p>高齢者の 地域生活 支援の充実</p>	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>はつらつシニアサポート事業</td> <td>22,877〔保健福祉部〕</td> </tr> <tr> <td>ねんりんピック開催</td> <td>314,227〔保健福祉部〕</td> </tr> <tr> <td>敬老優待乗車証交付事業</td> <td>4,688,757〔保健福祉部〕</td> </tr> <tr> <td>高齢者、障がい者の生活あんしん 支援事業(法人後見事業を含む)</td> <td>58,085〔総務部・保健福祉部〕</td> </tr> <tr> <td>さっぽろ孤立死ゼロ安心ネットワーク事業</td> <td>2,834〔保健福祉部〕</td> </tr> <tr> <td>特別養護老人ホーム新築費補助</td> <td>120,000〔保健福祉部〕</td> </tr> <tr> <td>若年性認知症支援事業</td> <td>4,309〔保健福祉部〕</td> </tr> <tr> <td>高齢者ひとくち講座・口腔ケア推進事業</td> <td>12,654〔保健福祉部・保健所〕</td> </tr> </tbody> </table>	はつらつシニアサポート事業	22,877〔保健福祉部〕	ねんりんピック開催	314,227〔保健福祉部〕	敬老優待乗車証交付事業	4,688,757〔保健福祉部〕	高齢者、障がい者の生活あんしん 支援事業(法人後見事業を含む)	58,085〔総務部・保健福祉部〕	さっぽろ孤立死ゼロ安心ネットワーク事業	2,834〔保健福祉部〕	特別養護老人ホーム新築費補助	120,000〔保健福祉部〕	若年性認知症支援事業	4,309〔保健福祉部〕	高齢者ひとくち講座・口腔ケア推進事業	12,654〔保健福祉部・保健所〕
はつらつシニアサポート事業	22,877〔保健福祉部〕																
ねんりんピック開催	314,227〔保健福祉部〕																
敬老優待乗車証交付事業	4,688,757〔保健福祉部〕																
高齢者、障がい者の生活あんしん 支援事業(法人後見事業を含む)	58,085〔総務部・保健福祉部〕																
さっぽろ孤立死ゼロ安心ネットワーク事業	2,834〔保健福祉部〕																
特別養護老人ホーム新築費補助	120,000〔保健福祉部〕																
若年性認知症支援事業	4,309〔保健福祉部〕																
高齢者ひとくち講座・口腔ケア推進事業	12,654〔保健福祉部・保健所〕																
<p>障がい者の 自立支援の 促進</p>	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>障がい者グループホーム・ケアホーム設置費補助</td> <td>6,000〔保健福祉部〕</td> </tr> <tr> <td>障がい者相談支援事業</td> <td>188,768〔保健福祉部〕</td> </tr> <tr> <td>精神障がい者地域生活移行支援事業</td> <td>10,700〔保健福祉部〕</td> </tr> <tr> <td>障がい児(者)療育支援事業</td> <td>33,264〔保健福祉部〕</td> </tr> <tr> <td>元気はっけん(派遣)事業</td> <td>10,000〔保健福祉部〕</td> </tr> <tr> <td>障がい者協働事業運営費補助</td> <td>62,325〔保健福祉部〕</td> </tr> </tbody> </table>	障がい者グループホーム・ケアホーム設置費補助	6,000〔保健福祉部〕	障がい者相談支援事業	188,768〔保健福祉部〕	精神障がい者地域生活移行支援事業	10,700〔保健福祉部〕	障がい児(者)療育支援事業	33,264〔保健福祉部〕	元気はっけん(派遣)事業	10,000〔保健福祉部〕	障がい者協働事業運営費補助	62,325〔保健福祉部〕				
障がい者グループホーム・ケアホーム設置費補助	6,000〔保健福祉部〕																
障がい者相談支援事業	188,768〔保健福祉部〕																
精神障がい者地域生活移行支援事業	10,700〔保健福祉部〕																
障がい児(者)療育支援事業	33,264〔保健福祉部〕																
元気はっけん(派遣)事業	10,000〔保健福祉部〕																
障がい者協働事業運営費補助	62,325〔保健福祉部〕																
<p>災害に強い 安全なまち の整備</p>	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>災害時要援護者避難支援対策</td> <td>3,470〔総務部〕</td> </tr> </tbody> </table>	災害時要援護者避難支援対策	3,470〔総務部〕														
災害時要援護者避難支援対策	3,470〔総務部〕																
<p>スポーツを 楽しむ環境 の充実と健康 づくりの推進</p>	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>「健康さっぽろ21」推進事業</td> <td>1,754〔保健所〕</td> </tr> <tr> <td>市民健康づくりサポート事業</td> <td>3,500〔保健所〕</td> </tr> </tbody> </table>	「健康さっぽろ21」推進事業	1,754〔保健所〕	市民健康づくりサポート事業	3,500〔保健所〕												
「健康さっぽろ21」推進事業	1,754〔保健所〕																
市民健康づくりサポート事業	3,500〔保健所〕																
<p>その他</p>	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>のぞみ学園改修</td> <td>300,000〔保健福祉部〕</td> </tr> <tr> <td>産婦人科救急医療対策事業</td> <td>170,489〔保健所〕</td> </tr> <tr> <td>安全・安心な食のまち・さっぽろ推進事業</td> <td>14,770〔保健所〕</td> </tr> </tbody> </table>	のぞみ学園改修	300,000〔保健福祉部〕	産婦人科救急医療対策事業	170,489〔保健所〕	安全・安心な食のまち・さっぽろ推進事業	14,770〔保健所〕										
のぞみ学園改修	300,000〔保健福祉部〕																
産婦人科救急医療対策事業	170,489〔保健所〕																
安全・安心な食のまち・さっぽろ推進事業	14,770〔保健所〕																

：新規事業 ：ヘルアップ事業

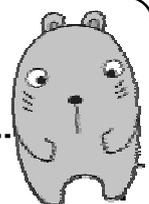
● ねんりんピック北海道・札幌大会を開催します

ねんりんピック(全国健康福祉祭)開催

60歳以上の方を中心とするスポーツと文化、健康と福祉の全国規模の祭典である、第22回全国健康福祉祭を「ねんりんピック北海道・札幌2009」として、21年9月5日から4日間の日程で札幌市を中心に全道各地で開催します。

札幌市では、「グラウンド・ゴルフ」「剣道」「サッカー」「水泳」の4種目を行います。

事業費	314,227 (新規)
主な内訳	
実行委員会負担金	150,000
札幌市実行委員会負担金	120,777



うっさん

北海道・札幌大会のマスコットキャラクター「うっさん」：北海道に生息する「なきうさぎ」がモチーフ

● 敬老優待乗車証の利用上限額を引き上げます

敬老優待乗車証交付事業

老後の生活を明るく豊かに送っていただくため、敬老優待乗車証の利用上限額を5万円から7万円に引き上げ、高齢の方々の外出を一層支援します。



事業費 4,688,757 (20年度予算額 4,163,123)
 達成目標 敬老優待乗車証の利用上限額
 H18 5万円 H21 7万円

● 障がいのある人の相談体制を拡充します

障がい者相談支援事業



障がいのある人やその家族を対象に、福祉サービスに係る情報提供や利用援助、関係機関との連絡調整、権利擁護のために必要な援助など、総合的な相談支援を行うとともに、これに必要な相談支援体制を拡充します。

事業費 188,768 (20年度予算額 94,737)
 達成目標 相談支援事業実施箇所数
 H18 10か所 H22 16か所
 21年度効果 +1箇所

● 産婦人科救急医療体制の充実

産婦人科救急医療対策事業

市民のみなさんが安心して子どもを生み育てることができる環境を整備するため、妊婦等の症状に応じて適切な医療を提供するための産婦人科救急医療体制を充実・強化します。



事業費 170,489 (新規)
 主な内訳
 患者受入情報プラットフォーム・患者相談窓口運営費 65,527
 二次救急医療機関体制整備費 60,730
 三次救急医療機関体制整備費 37,600

● 食の安全・安心を推進します

安全・安心な食のまち・さっぽろ推進事業

市民のみなさんの食の安全を守るための施策を推進するとともに、消費者と事業者との交流事業など、食への信頼性向上にも視点を置いた事業を推進します。



事業費 14,770 (20年度予算額 4,000)
 主な内訳：推進委員会運営費 4,351
 (中長期的な施策の検討)
 新規事業費 10,419
 (消費者と事業者との交流、しょくまる普及等)

< 主な見直し項目(効果額) >

・一般事務費の削減	122,920
・老人バス運営費補助金の見直し	33,677
・民間社会福祉施設等補助金の見直し	23,414

特別会計



保健福祉局では、一般会計の他に、4つの特別会計を所管しています。

国民健康保険会計(予算要求額 183,978百万円)

医療制度改革による拠出金の減等により、予算要求総額は前年度予算額と比べて3.79%の減になります。また、一世帯あたり保険料を軽減するための繰入金約143億円を含め、一般会計から総額約272億円の繰入金を受け入れます。保険料については、口座振替の促進など、滞納の未然防止対策を積極的に進めることにより、収納率の向上および歳入の確保に努めていきます。

介護保険会計(予算要求額 94,130百万円)

現在策定中の第4期介護保険事業計画に基づき、在宅や施設の介護保険サービスの提供に加え、介護予防などの地域支援事業を充実させていきます。

老人医療会計(予算要求額 1,857百万円)

長寿医療(後期高齢者医療)制度への移行に伴い、老人保健制度が廃止されたことから、平成20年度予算に比べ大幅に予算が減少しています。(21年度は、医療機関からの医療費の再請求分等について計上)

後期高齢者医療会計(予算要求額 19,183百万円)

平成20年4月に開始された長寿医療(後期高齢者医療)制度を運営している広域連合の運営経費など、高齢者が医療を受けるために必要な経費が計上されています。

子ども未来局

一般会計要求総額

51,288,220千円
(対前年度 +2.9%)

< 要求の基本的考え方 >

子どもを安心して生み育てることができるまちづくりを目指して、社会全体で子育て家庭を支える環境づくりを進める。

札幌の明日を担う子どもたちが、未来に夢を持ち、心身ともに健やかに育つ環境づくりに向けて、子どもたち一人ひとりの権利を尊重する社会の実現を目指す。

(単位：千円)

子どもを 生み育て やすい 環境づくり	主要事業	要求額
	ワーク・ライフ・バランス取組企業応援事業	20,000〔子ども育成部〕
	保育所待機児童対策事業	376,874〔子育て支援部〕
	延長・一時保育事業補助等	1,082,881〔子育て支援部〕
	(仮称)白石区保育・子育て支援センター整備	38,647〔子育て支援部〕
未来を担う 子どもが 健やかに 育つ環境 の充実	(仮称)北区保育・子育て支援センター整備	41,984〔子育て支援部〕
	児童家庭支援センター運営費補助事業	30,445〔児童福祉総合センター〕
	ミニさっぽろ開催費負担金	8,000〔子ども育成部〕
	児童会館における中・高校生の利用促進事業	68,430〔子ども育成部〕
	ミニ児童会館施設設備整備	138,951〔子ども育成部〕
	子どもの権利の推進 (普及啓発、救済機関運営管理等)	57,700〔子ども育成部〕

：新規事業 ：ヘルプアップ事業

子育てをサポートする区の拠点を整備

区保育・子育て支援センター整備（白石区、北区）

すべての子育て家庭に対する支援の充実を図るため、従来の保育機能に加え、常設の交流スペース(子育てサロン)等の子育て支援機能を有する施設を整備します。

- ・18年4月：豊平区、西区、手稲区に開設
- ・19年4月：東区に開設
- ・21年4月：清田区に開設予定
(仮称)市立認定こども園)
- ・22年度：白石区に開設予定
- ・24年度：北区に開設予定

白石区保育・子育て支援センター整備

事業費 38,647(新規)
主な内訳：工事請負費 28,746
監理費 1,519
事務費・備品費 8,382

北区保育・子育て支援センター整備(21年度分)

事業費 41,984(20年度予算額 15,000)
主な内訳：工事請負費 38,969
設計費・監理費 245
事務費・備品費 2,770

20～23年度の4年間をかけて整備します。

達成目標 区保育・子育て支援センター設置数

H18：3か所 H22：6か所

21年度効果 1か所新規開設

ワーク・ライフ・バランスに取り組む企業を応援

ワーク・ライフ・バランス取組企業応援事業



ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)に取り組む企業を札幌市独自の基準で認証し、積極的な認証企業紹介やアドバイザーの派遣、助成金支給などの支援を行います。

事業費 20,000(20年度予算額 12,500)
主な内訳：助成金 15,000
達成目標 認証取得企業数
H18：-社 H22：250社
21年度効果 100社



● 保育所待機児童対策

私立保育所新築費補助
私立保育所改築費補助
認可保育所整備促進事業
分園整備補助事業（新規）

待機児童の解消を目指し、私立保育所の新・改築を積極的に進めます。（21年度は240人の定員増を予定。）

事業費 376,874(20年度予算額 401,109)
主な内訳：補助金 376,874
達成目標 保育所定員数
H18(H19.4.1)：16,730人
H22(H23.4.1)：17,750人
21年度効果 240人(H21.4.1：17,375人
H22.4.1：17,615人)

20年1定補正分を含む

● 放課後の居場所づくりを進めます

ミニ児童会館施設設備整備

子どもたちの放課後の居場所づくりを進めるため、小学校の余裕教室の活用や増築等によりミニ児童会館を整備します。

事業費 138,951(20年度予算額 96,000)
主な内訳：工事費 96,653
備品購入費 14,000
達成目標 ミニ児童会館施設数
H18:40館 H22:70館
21年度効果 7館
H20:53館 H21:60館

● 子どもの権利の推進

子どもの権利推進事業
子どもの権利救済機関運営管理

平成20年第3回定例会市議会において制定された、「札幌市子どもの最善の利益を実現するための権利条例(子どもの権利条例)」に基づき、子どもの権利条例・条約の広報・普及や、子どもの参加機会の促進、子どもの権利救済機関の設置など、子どもの権利を尊重する社会を実現するための取組を行います。

事業費 57,700(20年度予算額 7,200)
主な内訳
条約・条例の広報・普及等 11,200
救済機関運営 46,500

札幌市子ども議会の様子



● 多様な保育サービスの充実

延長保育事業補助等
一時保育事業補助等

就労形態の多様化や育児に伴う心身の負担軽減など、子育て家庭の多様な保育需要に対応するため、延長保育事業、一時保育事業の実施設数を拡充します。

事業費 1,082,881(20年度予算額 1,030,589)
達成目標 延長保育実施施設数
H18:146か所 H21:172か所
一時保育実施施設数
H18:63か所 H21:83か所
21年度効果
延長保育実施施設数 16か所
H20:156か所 H21:172か所
一時保育実施施設数 4か所
H20:81か所 H21:85か所



● 児童家庭支援センターを拡充します

児童家庭支援センター運営費補助

児童相談所と連携して、児童虐待・非行・いじめ・不登校・保護者の子育て不安などの複雑多様化する児童問題に関して、身近な地域で24時間体制で相談、援助を行う児童家庭支援センターを拡充します。

事業費 30,445(20年度予算額 20,830)
達成目標 児童家庭支援センター設置数
H18:2か所 H22:4か所
21年度効果 1か所
H20:2か所 H21:3か所

< 主な見直し項目(効果額) >

・一般事務費の削減 32,304

環境局

一般会計要求総額
30,539,178千円
(対前年度 16.1%)

< 要求の基本的考え方 >

「安全・安心で、人と環境にやさしい街」の実現に向けて、「水とみどりの保全・育成と創出」と「地球環境問題への対応と循環型社会の構築」を推進するため、事業の優先付け・重点化を図る。

(単位：千円)

子どもを生き育てやすい環境づくり	一主要事業一	要求額
	福祉と多世代のふれあい公園づくり事業	97,000〔みどりの推進部〕
水とみどりの保全・育成と創出	創成川公園整備	306,000〔みどりの推進部〕
	木立を感じる街づくり事業	158,553〔みどりの推進部〕
	北緯43°花香る北の街づくり事業	48,851〔みどりの推進部〕
地球環境問題への対応と循環型社会の構築	CO ₂ 削減普及推進事業	46,969〔環境都市推進部〕
	エゾヒグマ館整備	176,318〔円山動物園〕
	札幌・I初キ・ecoポイント・E外事業	377,720〔環境都市推進部〕
	新たな家庭ごみの分別収集と資源化	1,513,071〔環境事業部〕
	資源回収実施団体奨励金	242,100〔環境事業部〕
	ごみ分けガイド等の配布	101,629〔環境事業部〕

：新規事業 ：バリエーション事業

● 水とみどりの保全・育成と創出

創成川公園整備

創成川通アンダーパス連続化事業により創出される地上部分に、水とみどりを生かした新たな空間を整備します。



事業費(みどりの推進部分) 306,000
(20年度予算額 22,000)
主な内訳：工事請負費 291,248
達成目標：都心部における水とみどりの空間
H18： - H22：1.9ha
21年度効果：造成工事(供用開始は22年度)

木立を感じる街づくり事業

都心部や主要幹線道路における緑ゆたかな街路樹づくりを実施するとともに、地域や家庭での植樹の取組を支援します。



事業費 158,553(20年度予算額 159,300)
主な内訳：道路緑化推進事業費 108,600
公共施設緑化推進事業費 25,920
緑すくすくストリートプラン 11,130
一家庭一植樹運動推進事業費 8,050
達成目標：一家庭一植樹運動推進事業による植樹本数(累計) H18：19,294本 H22：59,300本
21年度効果：+10,000本

● 子どもを生き育てやすい環境づくり

福祉と多世代のふれあい公園づくり事業

子育てサロンと隣接する公園に乳幼児を対象としたキッズコーナーなどを整備します。



事業費 97,000(20年度予算額：48,200)
主な内訳：
バリアフリー公園実施設計等 4,500
キッズコーナー実施設計 11,500
キッズコーナー工事費 81,000
達成目標：キッズコーナー(累計)
H18： - H22：10カ所
21年度効果：+5カ所

北緯43°花香る北の街づくり事業



地域が主体となって管理する花壇づくりを推進し、市民自ら花苗を育成して植栽する取組を支援します。

事業費 48,851(20年度予算額 54,700)
主な内訳：コミュニティガーデンプラン 4,130
ぶらり さっぽろ花ロードプラン 4,340
歩道美化事業 29,791
マイタウンマイフラワープラン 4,370
緑地帯整備事業 4,440
達成目標：コミュニティガーデン設置数(累計)
H18： - H22：30カ所
21年度効果：+10カ所

●自主的な環境行動の定着に向けて

CO₂削減普及推進事業

二酸化炭素排出削減を実現するため、市民・事業者の自主的な環境保全行動の推進を図る各種の普及啓発事業を推進します。

事業費 46,969(20年度予算額 52,073)

主な内訳：

さっぽろエコ市民運動 12,647

エコドライブ推進事業 8,811

環境教育推進事業 12,500

達成目標 エコライフレポートの取組による

CO₂排出削減量 H18 - H22 40,000t

21年度効果 30,000t



●新たな家庭ごみの分別収集と資源化

平成21年7月から、家庭から排出される「燃やせるごみ」「燃やせないごみ」の有料化を実施します。

これに併せて、さらなるごみの減量化を進めるために、家庭から出る「雑がみ」や「枝・葉・草」を収集し、資源として活用します。

「雑がみ」:(2週に1回収集)

「新聞・雑誌・ダンボール・紙パックや汚れた紙」以外のすべての紙類(紙箱、包装紙、写真など)をごみステーションで無料収集し、再生紙や固形燃料としてリサイクルします。

「枝・葉・草」:(4週に1回収集)

5月から11月までの間、庭木の剪定枝・葉や刈草などをごみステーションで無料収集し、チップ加工するなどしてリサイクルします。

(平成21年は7月から)

事業費 1,513,071

主な内訳：施設整備経費 438,430

収集処理経費 1,074,641



●円山動物園

エゾヒグマ館整備

北海道に生息する動物にスポットをあて、身近なところから環境問題を考えるきっかけとする「北海道・北方圏ゾーン」の中に、エゾヒグマ館を建設します。

事業費 176,318(新規)

主な内訳：設計・監理 4,328

建設工事費 166,888

達成目標 入園者数

H19 609,614人 H22 900,000人

●新エネ・省エネ機器の導入を支援

札幌・エネルギーecoプロジェクト事業

札幌市、エネルギー事業者、金融機関が連携して、太陽光発電や省エネルギータイプの給湯器、暖房機などの導入に対して、金利優遇や補助、無利子融資を実施します。

事業費 377,720(20年度予算額 211,000)

主な内訳：住宅ローン提携型融資助成金 4,500

市民向け融資(融資枠 200,000)

利子補給 7,820、預託金 183,000

市民向け補助 50,000

中小企業者向け融資(融資枠 200,000)

利子補給 5,550、預託金 123,970

事務費 2,880

達成目標 省エネ機器等の導入によるCO₂削減量

H18 13,000t H22 55,000t

21年度効果 43,000t(累計)

●資源回収実施団体奨励金を増額

資源回収実施団体奨励金



対象品目の回収量1kgにつき2円だった団体への奨励金を、1kgにつき3円に増額します。

事業費 242,100(20年度予算額 181,545)

主な内訳：奨励金 237,900

事務費 4,200

達成目標 回収量

H18 58,366t H22 71,930t

21年度効果 +12,000t

●ごみ分けガイド等の配布

新しい家庭ごみの分別区分や収集日などを市民の皆さんにわかりやすくお知らせするため、ごみ分けガイド・収集日カレンダーを作成して、平成21年5~6月に、全戸に配布します。また、家庭ごみ有料化実施に向け、お試し用の指定袋もあわせて配布します。

事業費 101,629

主な内訳：ごみ分けガイド作成 41,460

収集日カレンダー作成 9,052

お試し袋作成 20,643

配布費用 30,474

<主な見直し項目(効果額)>

・一般事務費の削減 1,766

・施設運営管理費の見直し 33,992

・ごみ処分手数料の改定

埋立・焼却・資源化・し尿等 1,078,006

経済局

一般会計要求総額

94,988,796千円

(対前年度 +8.8%)

< 要求の基本的考え方 >

「札幌らしい新産業の育成と企業の誘致」、「札幌の経済を支える企業・人の支援」を重点的に推進するために、事業の必要な見直しや事業の選択と集中を積極的に行い、「主体的な活動が生まれ、経済の活力みなぎる街」の実現を図る。

(単位：千円)

事業内容	要求額
札幌らしい新産業の育成と企業の誘致	さっぽろスイーツカフェ運営補助・・・10,000〔産業振興部〕 さっぽろブランド魅力発信事業・・・11,500〔産業振興部〕 食品産業開発支援事業・・・13,000〔産業振興部〕
札幌の経済を支える企業・人の支援	中小企業ネットワーク構築・推進事業・・・27,952〔産業振興部〕
その他	地産地消都市推進事業・・・3,500〔産業振興部〕 「北海道の食を愛するまち」情報発信拠点支援事業 ・・・・8,500〔産業振興部〕 海外販路開拓モデル事業・・・12,817〔産業振興部〕 札幌広域圏安全安心の地産地消推進事業・・・12,500〔農政部〕 環境配慮型テ-ルタ-導入調査・研究事業・・・4,000〔産業振興部〕 札幌・石狩広域連携企業誘致推進事業・・・5,800〔産業振興部〕 国際共同映像制作事業・・・4,000〔産業振興部〕 原油・原材料価格高騰緊急対策資金貸付・・・7,078,380〔産業振興部〕 ものづくり産業連携促進事業・・・14,400〔産業振興部〕 卸売業活用型販路拡大支援事業・・・4,000〔産業振興部〕 就業サポートセンター等事業・・・117,004〔雇用推進部〕

：新規事業 ：バ-ルアップ事業

道産品の地産地消促進による産業振興

地産地消都市推進事業
「北海道の食を愛するまち」情報発信拠点支援事業

「北海道の食を愛するまち 札幌」をスローガンとして、道産品の地産地消促進キャンペーンを展開するとともに、地産地消促進を目的とした取り組みを行う団体に出店支援を行います。



事業費 12,000 (新規)
 主な内訳：家賃補助金 8,000
 事務費 4,000

都心部から「さっぽろスイーツ」を発信

さっぽろスイーツカフェ運営補助

市内洋菓子店のスイーツを集積した店舗を「さっぽろスイーツ」発信拠点として都心部に整備します。



事業費 10,000 (新規)
 主な内訳：整備運営費等補助金 9,000
 事務費 1,000

● 魅力あるさっぽろブランドの発信強化

さっぽろブランド魅力発信事業

「さっぽろスイーツ」、
「札幌スタイル」、「さっぽ
ろとれたてっこ」といった
さっぽろブランドの発信を
強化します。



事業費 11,500 (新規)
主な内訳：テレビCM製作等 11,275
事務費 225

● 販売競争力のある食品づくりを支援

食品産業開発支援事業

道産食材を活用した売れる食品
づくりや食に関する技術開発を支
援します。



事業費 13,000 (新規)
主な内訳：補助金 11,000
事務費 2,000

● 石狩との連携による効果的な企業誘致

札幌・石狩広域連携企業誘致推進事業



札幌市及び石狩市の
企業立地優位性を最大
限活かすために、連携し
た企業誘致活動を実施し
ます。

事業費 5,800 (新規)
主な内訳：札幌圏誘致PR 3,800
誘致活動費 2,000

● 海外への輸出モデルづくりを支援

海外販路開拓モデル事業

食品製造業の外需獲得
型産業への転換を図るた
め、海外輸出モデルを構築
します。



事業費 12,817 (新規)
主な内訳：商談会開催・事務費等 4,817
販売コーディネーター等 8,000

● 隠れた良品の販路拡大を支援

卸売業活用型販路拡大支援事業



市内卸売業者と道
内・市内メーカーとの出
会い場を提供し、優位
性のある道産品の販路
拡大を支援します。

事業費 4,000 (新規)
主な内訳：商談会開催費等 4,000

● インターネットを活用した求人情報の配信

就業サポートセンター等事業

札幌市就業サポートセ
ンターの機能向上の一
環として、インターネット
を活用した求人情報等の
提供システムを構築しま
す。



事業費 117,004 (20年度予算額 106,124)
うちレベルアップ分：システム構築費等 2,300

● 近隣市町村との連携による安全・安心な農畜産物の普及促進

札幌広域圏安全安心の地産地消推進事業



安全・安心な農畜産物
の地産地消を近隣市町
村と連携して、推進しま
す。

事業費 12,500 (新規)
主な内訳：消費者向けPR・イベント 5,850
生産者支援 6,650

< 主な見直し項目 (効果額) >

一般事務費の削減 85,375

観光文化局

一般会計要求総額

7,997,131千円
(対前年度 +8.0%)

< 要求の基本的考え方 >

市民が文化芸術やスポーツを通して、この街に住むことに誇りを持てるような魅力あるまちづくりを進める。
国内外の多くの人たちが交流し、活気あふれる「集客交流都市さっぽろ」を実現させる。

(単位：千円)

未来を担う子どもが健やかに育つ環境の充実	— 主要事業 —	要求額
札幌の特色を活かした文化芸術の振興	子どもの美術体験事業費補助	7,964 [文化 部]
	子どもの映像制作体験事業費補助	1,650 [文化 部]
	Kitaraファーストコンサート事業費補助	27,851 [文化 部]
	サッポロ・シティ・ジャズ事業費補助	20,102 [文化 部]
スポーツを楽しむ環境の充実と健康づくりの推進	パシフィック・ミュージック・フェスティバル事業費補助等	215,310 [文化 部]
	(仮称) SAPPOROアート&コミュニティセンター整備	520,245 [文化 部]
	文化財施設維持保存事業	56,131 [文化 部]
	子ども体力向上事業	6,000 [スポーツ部]
新たな集客交流資源の創出と魅力の発信	さっぽろスポーツキャラバン隊事業	6,000 [スポーツ部]
	地域スポーツクラブ支援事業	4,000 [スポーツ部]
	ルディック記念ウインタースポーツ活性化事業	9,700 [スポーツ部]
	さっぽろ雪まつり魅力アップ事業	68,000 [観 光 部]
	藻岩山魅力アップ事業	62,444 [観 光 部]
	さっぽろオータムフェスト事業	50,000 [観 光 部]
	観光都市さっぽろ推進事業	22,000 [観 光 部]

● 多様な芸術文化に親しみ、交流・発信する環境づくり

サッポロ・シティ・ジャズ事業費補助

札幌独自の都市型ジャズフェスティバルを創造していくため、市内各所でのライブ演奏の他、海外との交流、子どもを対象としたワークショップなどの事業への支援を行います。



事業費：20,102(20年度予算額 18,000)
 主な内訳：事業費補助金 19,952
 事務費 150
 達成目標：イベント観客動員数
 H18 4,000人 H22 100,000人
 21年度効果：+4,979人

● 多様な芸術文化に親しみ、交流・発信する環境づくり

(仮称)SAPPOROアート&コミュニティセンター整備

16年3月に閉校した中央区旧曙小学校の跡施設を活用して、文化芸術と地域の融合を目指した、市民レベルの文化芸術活動拠点を整備します。



事業費：520,245(20年度予算額 54,700)
 主な内訳：改修工事費 491,628
 工事監理費 12,906
 達成目標：文化芸術団体と地域との交流イベント数
 H18 1回 H22 4回
 21年度効果：+1回

● 文化遺産の保存・活用と伝統文化、先住民族文化の継承

文化財施設維持保存事業

文化財を良好な状態で保存・活用し後世に継承していくため、時計台バリアフリー化設備設置など、適切な維持・管理に努め、計画的な整備・補修などを行います。



事業費：56,131(20年度予算額 2,300)
 主な内訳：時計台バリアフリー化設備工事 28,463
 豊平館整備検討費 20,404
 達成目標：補修工事等実施施設数
 H18 1施設 H22 5施設
 21年度効果：+1施設

● ウィンタースポーツの活性化

ルディック記念ウィンタースポーツ活性化事業

低迷傾向が見られるウィンタースポーツの活性化を図るため、ノルディックスキー世界選手権札幌大会の剰余金を活用して、子どもを対象としたウィンタースポーツの体験事業などを展開します。



事業費：9,700(20年度予算額 12,600)
 主な内訳：ウィンタースポーツクラブ等委託料 8,200
 スキー授業支援負担金 300
 達成目標：ウィンタースポーツをする人の割合
 H18 13.0% H22 20.0%
 21年度効果：+3.0%

● 観光魅力づくりの推進

藻岩山魅力アップ事業

自然環境に配慮しながら山頂展望台などの再整備を行うほか、「藻岩山の日」などのソフト事業を展開することにより、藻岩山のさらなる魅力アップを図ります。



事業費：62,444(20年度予算額 36,300)
 主な内訳：札幌紹介施設上映コンテンツ制作業務委託料等 48,650
 藻岩山周辺環境等整備事業補助金 13,325
 達成目標：藻岩山の入場者数
 H18 502,430人 H22 533,260人
 21年度効果：+7,764人

● 観光魅力づくりの推進

さっぽろオータムフェスト事業

大通公園において「北海道・札幌の食」をメインテーマとした集客イベント「さっぽろオータムフェスト」を開催し、秋の集客増と賑わいの創出を図ります。



事業費：50,000(20年度予算額 30,000)
 主な内訳：実行委員会への負担金 50,000
 達成目標：来場者数
 H18 人 H22 800,000人
 21年度効果：+100,000人

< 主な見直し項目(効果額) >

- ・一般事務費の節減 23,522
- ・事業の担い手による見直し 7,268 (写真ライブラリー展覧会事業費補助金の見直し、学校開放運営事業の見直し)

建設局

一般会計要求総額

54,628,115千円

(対前年度 1.7%)

< 要求の基本的考え方 >

歩いて暮らせる快適で美しい街の創造のため、バリアフリー化、地下歩行空間の整備等をすすめる。

安全・安心に暮らせる快適な街の実現のため、災害対策や水とみどりの保全等を行う。

北国らしいゆたかな暮らしの実現のため、地域実情に応じた除排雪に取り組む。

(単位：千円)

	一主要事業一	要求額
市民の主体的な地域づくりの支援	地域と創る冬みち事業推進	127,141〔管理部〕
障がい者の自立支援の促進	誰もが歩きやすい歩行空間ネットワーク創出事業	1,392,000〔土木部〕
水とみどりの保全・育成と創出	創成川親水緑地整備事業	390,000〔土木部〕
	多自然川づくりの推進	156,000〔下水道河川部〕
災害に強い安全なまちの整備	災害に強い道づくり事業(橋りょうの耐震化)	818,000〔土木部〕
将来を見据えた魅力ある都市の整備	札幌駅前通地下歩行空間整備	2,182,000〔土木部〕
	創成川通アンダーパス連続化整備	1,408,000〔土木部〕
	交通結節点改善事業(ＪＲ白石駅周辺地区)	842,000〔土木部〕
その他	デジタル道路台帳図整備	159,577〔管理部〕
	水防センター建設	98,000〔下水道河川部〕

：新規事業

● 都心の魅力と活力の向上

札幌駅前通地下歩行空間整備

四季を通じて安全で快適な歩行空間を確保し、都心全体の魅力と活力を向上させるため、地下鉄「さっぽろ駅」と「大通駅」を連結する地下歩行空間の整備を引き続き実施します。平成 21 年度は、地下通路本体の構築及び建築・設備工を行います

事業費 2,182,000(20 年度予算額 2,734,000)

達成目標

《地下歩行空間(地下歩道)の整備》

H22 供用開始

創成川通アンダーパス連続化整備 創成川親水緑地整備事業

創成川通のアンダーパスが平成 21 年 3 月に供用開始となります。平成 21 年度は、地上部道路の整備を行うとともに、河川・緑地空間において、創成川の歴史的価値を重んじつつ、水とみどりを生かした新たな空間(河川部)整備を進めます。

事業費 1,798,000(20 年度予算額 5,044,000)

達成目標

《アンダーパス連続化》《地上道路部分整備》

H20 供用開始 H22 完成

《都心部における水とみどりの空間》

H18 - H22 1.9ha

● 市民自治の実践による雪対策の推進

地域と創る冬みち事業推進

地域住民・除雪事業者・行政の三者による話し合いにより、地域の実情に応じた除排雪等を行い、市民の理解や満足度を高めます。

また、この事業の成果は、次期札幌市雪対策基本計画に反映させます。

事業費 127,141(20年度予算額 111,000)

主な内訳：委託料 112,632

事務費 14,509

達成目標

《参加町内会数》

H18 H22 総数 560 町内会

21年度実施予定数 80 町内会



● 誰もが歩きやすい歩行空間ネットワーク創出

誰もが安心して歩けるよう、重点整備地区における歩道のバリアフリー化を進めるとともに、新たに3地区の「あんしん歩行エリア(*)」を形成するなど、安全で歩きやすい歩行空間を創出します。

*あんしん歩行エリア

市街地内で交通事故の発生が多い地区を対象に、歩行者や自転車などが安心して通行できるように、地域主体で道路整備や交通安全活動などを重点的に行うエリア。

事業費 1,392,000(20年度予算額 1,094,000)

主な内容：歩道のバリアフリー整備、交通事故対策など

達成目標

《重点整備地区バリアフリー化率》

21年度効果

「札幌市交通バリアフリー基本構想」の見直しを受け、重点整備地区を拡大し、新たな目標値を設定する。

《あんしん歩行エリアの形成数》

H18 9エリア H22 12エリア

21年度効果 +1 エリア(累計 10 エリア)

● 多自然川づくりの推進

河川全体の自然の営みを視野に入れ、地域の暮らしや歴史・文化との調和にも配慮し、河川が本来有している生物の生息・生育・繁殖環境および多様な河川景観を保全創出する河川整備を行います。

事業費 156,000(20年度予算額 203,000)

主な内訳：河川整備費 156,000

達成目標

《多自然川づくり整備延長》

H18 4.7km H22 5.5km

21年度効果 +0.3km

● 橋りょうの耐震機能の強化

大規模な災害時に救急・消火および緊急物資の輸送などの重要な役割を担う緊急輸送路の機能を確保するため、橋りょうの耐震補強を行います

事業費 818,000(20年度予算額 908,000)

達成目標

《耐震補強実施済橋りょう数(累計)》

H18 26橋 H22 45橋

21年度効果 +5橋(累計 39橋)

● 交通アクセス性の向上

交通結節点改善事業 (JR白石駅周辺地区)

JR白石駅周辺において、鉄道により分断されている市街地の一体化や、交通結節点へのアクセスの向上、公共交通機関の乗り継ぎ利便性の向上を図るため、自由通路、駅前広場などの整備を実施します。

事業費 842,000(20年度予算額 582,000)

主な内容：自由通路の整備(20年度より継続)

達成目標

《JR白石駅自由通路の整備》

H22 供用開始

<主な見直し項目(効果額)>

・一般事務費の削減	45,411
・施設運営管理費の見直し	18,452
・サービス水準等の見直し	6,832
・堤防使用料の改定	563

都市局

一般会計要求総額
13,446,881 千円
(対前年度 1.7%)



< 要求の基本的考え方 >

高齢者や障がい者、子育て世帯など、誰もが安心して生活できるよう、住宅の普及や施設のバリアフリー化を促進する。

市民の安全な暮らしを確保するため、木造戸建住宅、民間建築物及び市有建築物の耐震化を支援・推進する。

活力に満ちあふれた都市の発展を目指し、調和のとれた良好な市街地整備を進めるため、都市再開発事業や土地区画整理事業による総合的なまちづくりを推進する。

(単位：千円)

子どもを生き育てやすい環境づくり	一主要事業一 特定優良賃貸住宅を活用した 子育て支援事業・・・	要求額 23,608〔市街地整備部〕
高齢者の地域生活支援の充実	高齢者向け優良賃貸住宅供給事業・・・ 借上市営住宅整備事業・・・ 既設市営住宅バリアフリー化事業・・・	45,362〔市街地整備部〕 56,800〔市街地整備部〕 159,945〔市街地整備部〕
障がい者の自立支援の促進	厚別副都心地区街づくり事業・・・	365,300〔市街地整備部〕
日常の身近な暮らしの安心の確保	民間建築物吹付けアスベスト対策事業・・・	5,332〔建築指導部〕
災害に強い安全なまちの整備	木造住宅耐震診断補助・・・ 民間建築物耐震化促進事業・・・ 市有建築物耐震化推進事業・・・	12,700〔市街地整備部〕 66,177〔建築指導部〕 20,367〔建築部〕
将来を見据えた魅力ある都市の整備	J R 篠路駅西第 2 地区再開発事業・・・	74,000〔市街地整備部〕

：イパルアップ事業

● 子どもを育てやすい環境づくり

特定優良賃貸住宅を活用した子育て支援事業

子育て世帯に対する経済的負担を軽減するため、公的賃貸住宅の一つである特定優良賃貸住宅を活用して、子育て世帯に対する家賃の補助を拡大し、子育てしやすい良質な賃貸住宅を提供します。

事業費 23,608 (20 年度予算額 7,769)
主な内訳：家賃減額補助金 23,608
達成目標 子育て世帯の入居個数
H18 111 世帯 H22 221 世帯
21 年度効果 +66 世帯

● 高齢者向け賃貸住宅の確保

高齢者向け優良賃貸住宅供給事業

民間事業者が建設・運営する高齢者向けの優良な賃貸住宅に対し、事業者には建設費の一部を、入居者には家賃の一部を補助します。

事業費 45,362(20 年度予算額 46,000)
主な内訳：建設費補助金 3,600
家賃減額補助金 41,334
達成目標 認定戸数
H18 147 戸 H22 347 戸
21 年度効果 +50 戸

● 既設市営住宅にエレベータを設置

既設市営住宅バリアフリー化事業

階段室型の既存市営住宅に対して、エレベータの設置などを行います(モデル事業)。

事業費 159,945 (20年度予算額 176,000)
 主な内訳：工事費 153,536
 工事監理費 4,667
 達成目標 エレベータの設置と効果の検証
 H18 -- H22 検証
 21年度効果 エレベータ設置2基

● 副都心地区のバリアフリー化

厚別副都心地区街づくり事業

厚別副都心地区において、JR新札幌駅周辺のバリアフリー化や、市民からの要望の強いバスターミナルの防寒対策を実施します。

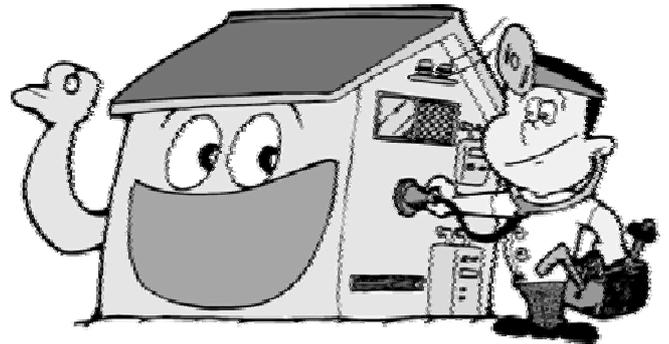
事業費 365,300 (20年度予算額 132,000)
 主な内訳：エレベータ新設 134,000
 防寒対策工事 222,000
 達成目標 乗継動線のバリアフリー化
 H18 -- H22 完了
 21年度効果 進捗率+46%

● アスベストの調査・除去を支援

民間建築物吹付けアスベスト対策事業

アスベストの含有調査や除去等工事を行った所有者に対して、費用の一部を補助します。

事業費 5,332(20年度予算額 1,230)
 主な内訳：調査・除去等補助金 5,332
 達成目標 調査件数 H18 0件 H22 30件
 除去件数 H18 0件 H22 24件
 21年度効果 調査7件、除去4件



● 木造住宅や民間施設の耐震化を促進

木造住宅耐震診断補助

旧耐震基準で建築された木造戸建住宅の耐震診断を行った市民に、診断費用の一部を補助します。

事業費 12,700(20年度予算額 10,500)
 主な内訳：耐震診断費補助金 6,000
 窓口・講習会等委託費 6,000

民間建築物耐震化促進事業

民間所有の学校、医療施設、分譲共同住宅などに対する耐震診断やその予備調査に要する費用の一部を補助します。

事業費 66,177(20年度予算額 63,300)
 主な内訳：耐震診断等補助金 59,700

達成目標 札幌市内の住宅の耐震化率
 H18 82.8% H22 85.5%

21年度効果 +0.9%

● 札幌市所有建築物の耐震診断を実施

市有建築物耐震化推進事業

緊急時に応急活動の拠点となる施設や避難所などの市有建築物の耐震診断を行い、耐震化を実施します。

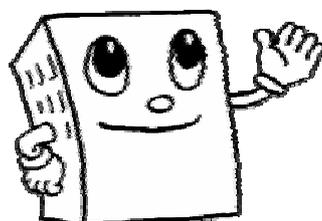
事業費 20,367(20年度予算額 20,300)
 主な内訳：耐震診断委託費 19,187
 達成目標 耐震化に着手した施設数
 H18 4施設 H22 64施設
 21年度効果 +16施設

● 再開発による快適な市街地の整備

JR篠路駅西第2地区再開発事業

再開発事業により駅前広場や共同住宅などを一体的に整備し、快適な市街地環境を創出します。

事業費 74,000 (20年度予算額 324,000)
 主な内訳：自転車歩行者専用道等整備 52,000
 再開発補助金 22,000
 達成目標 JR篠路駅西第2地区の整備
 H18 -- H21 完了
 21年度効果 進捗率+9.2%(完了)



< 主な見直し項目(効果額) >

・一般事務費の削減 11,305
 ・市営住宅使用料の改定 49,942

消 防 局

一般会計要求総額

5,154,951千円
(対前年度 13.0%)

< 要求の基本的考え方 >

市民のみなさんと連携を図り災害の低減を目指すとともに、災害発生時には24時間体制という組織力をもって迅速・確実に対応し被害を最小限に抑え、まちづくりの基本である「市民生活の安全と安心」を確保する。

(単位：千円)

日常の身近な暮らしの安心の確保	一主要事業一	要求額
	救急業務高度化推進	39,425〔警 防 部〕
災害に強い安全なまちの整備	南消防署耐震化改修	21,286〔総 務 部〕
	水防倉庫整備	50,292〔総 務 部〕
そ の 他	篠路出張所改築	376,789〔総 務 部〕
	消防救急デジタル無線共同整備設計	19,177〔総 務 部〕
	新型消火剤導入事業	3,833〔警 防 部〕
	救助体制高度化事業	3,000〔警 防 部〕
	新型インフルエンザ対策事業	4,000〔警 防 部〕
	子ども防災リーダー育成事業	3,000〔予 防 部〕

：新規事業 ：パルアップ事業

● 救命率の向上

救急業務高度化推進

救急救命士に対する、気管挿管や薬剤投与の研修、救急資器材の充実を継続して行い、救命率の向上を目指します。



事業費 39,425(20年度予算額 38,000)
 主な内訳：
 気管挿管・薬剤投与セット講習経費 26,109
 気管挿管病院実習経費 7,761
 現場資機材整備関係経費 5,555
 達成目標
 気管挿管病院講習の実施 15名 H21 +15名
 セット講習の実施 45名 H21 +45名

● 耐震化の促進

南消防署耐震化改修

市有建築物耐震化緊急5ヶ年計画に基づき、南消防署の耐震化改修工事を実施します。



事業費 21,286(新規)
 主な内訳：耐震化工事費 19,554
 事務費 1,732
 達成目標 耐震化施設数 H21 1施設
 21年度効果 +1施設(耐震化)

● 水防倉庫の整備

水防倉庫整備

東雁来地区に新設される水防センター内に水防倉庫及び東雁来分団詰所を整備します。

事業費 50,292 (新規)
主な内訳：水防倉庫工事費 47,500
旧施設解体工事費 1,292
事務費 1,500
達成目標 水防倉庫整備数 H21 1施設
21年度効果 +1施設(移転)

● 子どもの防火・防災教育の充実

子ども防災リーダー育成事業

将来の地域防災リーダーを担う人材を育成するため、教育資機材等の整備を図り、地域が行う防火・防災活動の充実を図ります。

事業費 3,000
主な内訳：資機材購入等 3,000
達成目標 小学校出前授業実施校数 209校
21年度効果 +6校

● 万ーに備えて

新型インフルエンザ対策事業

新型インフルエンザの流行に備え、的確に対応するため、必要な感染防止資器材を計画的に整備します。

事業費 4,000 (新規)
主な内訳：新型インフルエンザ感染防止資材購入 4,000
達成目標 感染防止資材充足率 H21 ~ 33.3%
21年度効果 +33.3%

● 環境に配慮した消防体制の確立

新型消火剤導入事業

水だけの消火に比較して格段に消火効率が高いクラスA泡消火剤を使用した消火戦術を導入し、迅速・確実な消火活動と火災によるトータル被害の軽減を図り、環境に配慮した消防体制を確立します。



事業費 3,833 (新規)
主な内訳：消防車両における装備整備及び消火剤の購入 3,833
達成目標 消火水の削減
H20 H21 30%減(整備隊使用分)
21年度効果 30%

● 消防施設の充実強化

篠路出張所改築

築38年が経過し老朽化、狭隘化が著しく、旧耐震基準以前の建築物である



篠路出張所の移転改築工事を実施します。
<施設概要> 建設予定地 北区篠路2条4丁目
規模 耐火造2階建延 627㎡

事業費 376,789 (新規)
主な内訳：篠路出張所建築費 365,919
旧庁舎解体設計費 2,723
事務費 8,147
達成目標 改築施設数 H21 1施設
21年度効果 +1施設(移転)

● 新型救助資機材の導入

救助体制高度化事業

大規模化、特殊化する災害に的確に対応するため、新型の救助資機材を導入し、効率的、効果的な救助活動を実施することにより、市民生活の完全・安心の向上を図ります。



事業費 3,000 (新規)
主な内訳：新型救助資機材購入 3,000
達成目標 新型救助資機材整備隊数 H21 1隊
21年度効果 +1隊

● 無線デジタル化を推進

消防救急デジタル無線共同整備設計

電波法関係審査基準の改正(15年10月)に伴い、整備費用の抑制等を目的とした共同化に関する国の指導により、北海道が策定した整備計画に基づき、本市を含む石狩支庁管内の6本部(札幌市、江別市、千歳市、恵庭市、北広島市、石狩北部地区消防本部)により、消防救急デジタル無線を共同で整備します。



事業費 19,177 (新規)

<主な見直し項目(効果額)>

・一般事務費の削減 38,516
・人件費の見直し 124,912

教育委員会事務局

一般会計要求総額

35,569,613千円

(対前年度 +8.1%)

< 要求の基本的な考え方 >

幼児教育、義務教育、高等学校教育、特別支援教育、生涯学習を着実に推進する

安心・安全な教育環境をつくるため、施設の耐震補強、改修等の計画的推進を図る

(単位:千円)

未来を担う子どもが健やかに育つ環境の充実	一主要事業一	要求額	
	市立札幌大通高等学校整備事業	2,217,630	〔総務部〕
	奨学金支給	78,691	〔学校教育部〕
	幼児教育センター関係事業	18,582	〔学校教育部〕
	特別支援教育支援員活用事業	90,561	〔学校教育部〕
	外国語指導助手関係	258,745	〔学校教育部〕
日常の身近な暮らしの安心確保	地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業	18,823	〔総務部〕
災害に強い安全なまちの整備	学校施設改築事業	1,745,699	〔総務部〕
	学校施設耐震補強事業	1,164,629	〔総務部〕
その他	小中学校理科少額教材整備事業	20,000	〔総務部〕
	子ども読書活動推進プラン事業	13,000	〔総務部・学校教育部〕
	部活動外部顧問派遣事業	3,600	〔学校教育部〕
	図書館サービス網整備事業	700	〔中央図書館〕
	区民センター図書室環境整備事業	1,700	〔中央図書館〕
	図書館バリアフリー化整備事業	2,200	〔中央図書館〕
	インターネット閲覧サービス事業	1,200	〔中央図書館〕
	中央図書館デジタルライブラリー第2期事業	1,800	〔中央図書館〕

: 新規事業 : レ・アルアップ事業

● 安全・安心な学校づくり

学校施設
耐震補強事業



市有建築物耐震化緊急5ヵ年計画に基づき、耐震性能が特に低い52校のうち48校について22年度までに耐震補強を行います。21年度は14校について補強工事、20校で実施設計を行います。

なお、52校のうち4校については23年度までに改築を順次進めていきます。

事業費 1,164,629(20年度予算額 1,855,000)

達成目標 H22年度までに48校を整備

H18 3校 H22 48校

21年度効果 +14校

● 平成22年4月の新校舎供用開始に向けて

市立札幌大通高等学校
整備事業



生徒の学習ニーズの多様化に柔軟に対応するため、市立高等学校4校の定時制課程を発展的に再編し、旧大通小学校校舎を暫定活用し20年4月に開校した市立札幌大通高等学校。22年4月の新校舎供用開始を目指して、PFI手法により建設工事等を実施します。なお、新校舎には市立中央幼稚園を併設します。

事業費 2,217,630(20年度予算額 3,400)

達成目標 H21:新校舎の竣工

● 新学習指導要領に向けた理科教材整備

小中学校理科少額教材整備事業

23年度(小学校)及び24年度(中学校)からの新学習指導要領の施行に向けて、特に授業時間や学習内容が増加する理科において、実験教材の整備を進めていきます。

21年度からは既存の整備事業に加えて、新学習指導要領により新たに必要となる「手回し発電機」、「電流の発熱実験機」などの少額の教材の整備を開始します。



事業費 20,000 (新規)

● 特別支援教育のために

特別支援教育支援員活用事業



障がいのある子どもたちが、障がいの状況や程度に応じた適切な支援を受けることができるよう、学校生活上必要となる支援を行う学びのサポーターの活用体制を整備します。

事業費 90,561(20年度予算額 48,600)

● 支給対象者の拡充



奨学金支給

能力があるにもかかわらず経済的理由により修学困難な学生・生徒等に奨学金を支給します。21年度は、第2次札幌新まちづくり計画による増員及び新基金設立に伴う増員により、前年度より300人程度の採用者増を見込んでいます。

事業費 78,691 (20年度予算額 50,001)
達成目標 支給対象者 H18:456人 H22:1,000人
21年度効果 +302人(H20:698人 H21:1,000人)

● 外国語の実践力を育成

外国語指導助手関係

外国語(英語)教育における生徒のコミュニケーション



能力の育成、国際理解教育の推進を目的として、中学校と高等学校に外国語指導助手を配置します。

事業費 258,745(20年度予算額 240,175)

< 主な見直し項目(効果額) >

・学校管理費など一般事務費の削減	87,851
・学校整備費などの削減	70,383
・受益者負担の適正化	20,804

● 子どもの読書を支える

子ども読書活動促進プラン事業



プランに基づき、「学校図書館サポートシステム」「家庭読書本のリサイクル交換市」「学校と地域書店との連携事業」を展開します。学校図書館サポートシステムでは、アドバイザー派遣とボランティア派遣を行い、学校図書館活用の具体的な方策のアドバイスや、レファレンスサービスなどを行い、児童生徒の読書意欲を高めていきます。



また、併せて学校図書館の図書整備率の向上を図るため、図書購入を行います。

事業費 13,000 (新規)

● 幼児教育水準の向上をめざして

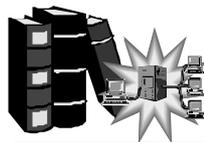
幼児教育センター関係



20年4月に開設した札幌市幼児教育センター。21年度はさらに、私立幼稚園との緊密な連携や、特別な教育的支援を必要とする幼児のための「育ちをささえ・つなぐしくみ」の検討を進めます。

事業費 18,582 (20年度予算額 13,000)

● 図書館サービスを更に充実



20年8月に開始したインターネット予約サービスなどに加え、21年度からは更なるサービスの向上を図ります。

図書館サービス網整備事業

札幌市生涯学習センター(ちえりあ)の図書コーナーに端末機を設置し、図書の貸出・予約・返却が可能なサービスポイントを整備します。

区民センター図書室環境整備事業

地震による利用者への被害防止策として、書架の耐震補強整備を行います。

図書館バリアフリー化整備事業

新琴似及び西岡図書館のトイレの洋式化、手すり・ベビーチェア等の設置などを行います。



事業費 4,600 (新規 合計)
達成目標 H24までに中央図書館及び地区図書館7館を整備()
21年度効果 +2館()

会計室

一般会計要求総額
251,296千円
(対前年度 10.4%)

< 要求の基本的考え方 >

公金の金融機関窓口での収納及び口座振替による支出の件数が増加傾向にあり、それに伴い納入通知書等の事後処理経費及び収納・支払にかかる金融機関への手数料も増加している中、引き続き適切な会計管理を行い、公金の適正な執行を図る。

そ の 他

一主要事業一	要求額
会計管理	190,186
用品準備購入	61,110

● 経費削減に向けた取組みを推進

用品準備購入

各部局において共通に使用する物品である筆記用具等を用品として指定し、一括購入を行うことにより、経費の削減及び効率的な事務の遂行を図ります。

また、一括購入用品の品目について再検討し、市役所全体における積極的活用を目指します。

事業費 61,110 (20年度予算額 62,808)
主な内訳：ノート、筆記用具、洗剤、作業用被服

< 主な見直し項目(効果額) >

・一般事務費の削減 3,001



財政局

一般会計要求総額
152,878,655千円
(対前年度 4.1%)

< 要求の基本的考え方 >

「持続可能な財政構造への転換」を実現するため、財政基盤の強化や、地方分権に対応した予算編成を行います。市税収入の向上等へ向けた主要事業や、市有地の利活用について計画的に取り組んでいきます。

(単位：千円)

そ の 他

一主要事業一	要求額
市税事務所の設置準備事業	87,046〔税政部〕
円滑な税源移譲実施のための市民税対策	12,829〔税政部〕
市有地売却促進事業	10,200〔管財部〕

：ハルアップ事業

● 税務事務における効率的な執行体制の推進

市税事務所の設置準備事業

「公平・適正な課税」の実現と「納税秩序の維持」に向けて、重要な自主財源である市税を確保するために効率的な執行体制を確立し、機能強化を図るため市税事務所の設置に向けた準備を進めます。

事業費 87,046(20年度予算額 5,955)
主な内訳：電算システムの改修費 73,309
市民向け広報費用 2,722

● 市有地売却に係る民間活用

市有地売却促進事業

宅地建物取引業者による市有地の購入者斡旋など民間のノウハウを活用し、市有地の売却を促進します。

事業費 10,200(21年度新規事業)
主な内訳：市有地売却媒介制度の導入 9,000
民間アドバイザーの活用 1,200

< 主な見直し項目(効果額) >

・一般事務費等の節約・削減等 55,160

選挙管理委員会事務局

< 要求の基本的考え方 >

選挙が公正かつ適正に行われるよう、常にあらゆる機会を通じて啓発活動を行い、選挙人の政治意識の向上に努める。

一般会計要求総額

611,799千円
(対前年度 +524.4%)

(単位：千円)

そ の 他	一主要事業一	要求額
	衆議院議員選挙執行費	471,000
	投票人名簿管理システム改修費	60,730

：新規事業

● 投票人名簿管理システムの改修

投票人名簿管理システム改修

国民投票制度の施行に伴うシステムの改修

事業費 60,730千円

< 主な見直し項目(効果額) >

・一般事務費の削減 512

人事委員会事務局

< 要求の基本的考え方 >

市民自治の推進を担う幅広い人材を確保するため、本市採用試験受験者数の増加を目指し、採用試験に関する情報等の積極的なPR活動や人物重視の採用方法の検討を行う。

自ら考え、行動する職員を育て、かつ、それらの職員が情熱や高い倫理観を持ちながらその能力を最大限に発揮して、市民の負託に応えていくことができるよう、引き続き、人事給与等についての調査研究など人事給与制度改革への取組みを推進する。

一般会計要求総額

40,978千円
(対前年度 1.7%)

(単位：千円)

そ の 他	一主要事業一	要求額
	職員採用情報提供事業	2,485
	人事給与調査研究事業	750

● 有為な人材の確保に向けて

職員採用関連PR事業

より幅広く人材を確保するため、職員採用情報等の積極的なPR活動を展開します。

採用試験ポスター・パンフレットの作成
人事委員会主催の採用試験説明会の開催
ホームページでの情報提供
就職活動サイト等への登録
合同企業説明会への参加
採用試験面接官面接技法研修

事業費 2,485(20年度予算額 1,650)

● 人事給与制度に関する調査研究

人事給与制度調査研究事業

他の地方公共団体等と情報交換をしつつ、職員の給与制度や勤務条件制度についての調査研究を行い、市民サービスの向上へとつながる本市の制度を構築します。

研修会等への参加
書籍の購入

事業費 750(20年度予算額 757)

< 主な見直し項目(効果額) >

・一般事務費の削減 697

監査事務局

一般会計要求総額
23,293千円
(対前年度 1.8%)

< 要求の基本的考え方 >

依然として厳しい財政環境の中、独立機関として、公正・中立な立場で監査を行い、行政の適法性、効率性及び妥当性をチェックする監査委員の役割は、その重要性を増しており、監査事務局では、監査機能の専門性・独立性を確保しながら、より一層の監査事務の充実に努め、市役所改革の推進や市民ニーズに対応した、実効性の高い監査を目指す。

(単位：千円)

そ の 他	一主要事業一	要求額
	監査事務	17,074

● 監査機能の充実強化

平成16年度に、所管部の事業に着目し、経済性・効率性・有効性などについて、広く財政運営全般の観点から評価する行政監査的監査を導入したが、引き続きこれを充実させ、多くの事務事業の中から必要に応じて具体的な問題提起を行い、事務改善につなげていきます。

行政事務の専門化、複雑化及び新制度等へ対応し、監査の質の向上を目指すため、職員のスキルアップを目的とした研修を充実させます。

● 情報共有の推進

ホームページ「札幌市の監査」を通じて、監査結果の報告や決算審査意見など、監査に関する情報を積極的かつ速やかに提供します。また、ホームページの内容や表現を工夫し、より市民にわかりやすいものにするよう努めます。

< 主な見直し項目(効果額) >

・一般事務費の削減 415

議会事務局

一般会計要求総額
1,551,783千円
(対前年度 +0.3%)

< 要求の基本的考え方 >

地方分権の進展により地方自治体の自己決定権と自己責任が拡大する中、議会における政策形成機能を充実するとともに市民に開かれた議会運営を推進する。

(単位：千円)

そ の 他	一主要事業一	要求額
	議会運営(議会広報関係)	14,397

● 議会広報の推進

議会運営費(議会広報関係)

市民のみなさんに議会への関心と理解を深めていただくため、広報誌やインターネット等による議会広報を推進します。

事業費 14,397(20年度予算額 15,160)
主な内訳：インターネットでの会議録の検索・閲覧 2,520
市議会だより(年4回)等の広報誌 1,500
本会議のインターネット配信 500



< 主な見直し項目(効果額) >

・一般事務費の削減 1,489